

第9学年 美術科 年間指導・評価計画

目 標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
4	3	p. 2～5 学びの探求と未来 時代を超えて美を追求する思い p. 5 学びの言葉 井浦新 p. 6-7 この教科書で学びみなさんへ p. 24～29 あの目を忘れない	<ul style="list-style-type: none"> 作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 作者が作品を通じて訴えたいことは何なのか、時代や社会的背景なども視野に入れて作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え、意見を述べ合う。 社会における美術の力について話し合う。
5 6	7	p. 18-19 イメージを追い求めて p. 56 石を彫る	<ul style="list-style-type: none"> 抽象彫刻の作品を鑑賞し、造形的な特徴などから何かに見立てたり、心情などと関連付けたりしながらイメージで捉えることを理解する。 複数の視点から対象を深く見つめたり、本質について想像したりして主題を生み出す。 主題を基に、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、内面や本質を捉え直しながら構想を練る。 材料や用具を関連付けたり総合的に扱ったりするなどして生かしながら創造的に表す。 自分や友達の作品を鑑賞し、その心情や表現の意図や工夫などについて考え、話し合う。
7	1 2	p. 46-47 笑顔が生まれる 鉄道デザイン p. 53 受け継ぐ伝統と文化 p. 30-31 仏像に宿る心 p. 54 仏像の種類 美術文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> 水戸岡の作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 機能性と調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考え、発表し合う。 作品を鑑賞し、顔や手の表情がもたらす効果や、形や材料、質感、空間などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 時代や種類、作者による特徴などを理解し、作品から受ける思いについて意見を述べ合う。

9	5	p. 36-37 私の色 みんなの色 p. 56 布を染める p. 52 日本の世界文化遺産	○使う場面や飾る場所、イメージなどから主題を生み出す。 ○機能と造形的な美しさとの調和を総合的に考えて構想を練る。 ○布の特性や感情にもたらず効果、用具の機能面としての特性を生かしながら創造的に表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。
10	8	p. 8~11 今を生きる私へ p. 50-51 さまざまなアートに触れよう	○自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。 ○主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、創造的な構成を工夫して構想を練る。 ○材料などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、発表し合う。
1	3	p. 38-39 魅力を伝えるパッケージ	○身の回りのパッケージの造形的な特徴などに着目し、形や色彩の工夫を理解する。 ○伝える相手や内容の他、地域や社会との関わりなども視野に入れて主題を生み出す。 ○情報や気持ちなどを分かりやすく美しく的確に伝える効果と調和を考え構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。
2	5	p. 42-43 心がほっと ながむもの	○使う目的や条件などを基に、使用する者への作用や機知やユーモアなどから主題を生み出す。 ○使いやすさや機能と遊び心との調和を総合的に考えて、表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。
3	1	p. 60-61 あなたへ 明日への旅立ち	

【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能
「授業態度」「提出物」「作品」「定期考査」
- 2 思考・判断・表現
「授業観察」「提出物」「作品制作過程」「作品」
- 3 主体的に取り組む態度
「授業観察」「課題への取組」「提出物の状況」